

4°C

holdings group

株式会社4°Cホールディングス 第68期第3四半期株主通信

(2017年3月1日から2017年11月30日まで)

株主の皆様へ

～ すべてはおお客様の“笑顔”や“ときめき”のために～

当社グループは、すべてのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただければ幸いです。



代表取締役社長 鈴木 秀典

2018年2月期第3四半期の総括

2018年2月期第3四半期の連結業績は、増収減益の計画に対し減収減益となりましたが、四半期純利益は2期連続で過去最高を更新しました。

事業別業績をみると、ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、ブライダルジュエリーが計画を下回ったこともあり、減収減益となりました。なお、「4°C BRIDAL」(ヨンドシーブライダル)は専門店としての独自性を追求し、大規模な商品開発に取り組んだほか、フェア施策の充実を図っております。アパレル事業では、アスティグループは、商品提案力と海外生産拠点を活かした主力得意先との取り組みを強化し、売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。(株)アーージュでは、デイリーファッション「パレット」の出店拡大を進めるとともに販促施策の強化に取り組み、好調に推移いたしました。その結果、アパレル事業は増収も減益となりました。

通期連結業績予想について

当期は「4°C BRIDAL」において、大規模な商品開発に取り組みましたが、ブライダルジュエリーの回復には想定以上の時間を要すこととなりました。また、ジュエリー事業の最大需要期である12月のクリスマス商戦において、売上高が計画を下回る結果となりました。これら最近の業績動向を踏まえ、

2018年2月期の通期連結業績予想を従来の増収増益から減収減益へと修正いたしました。

一方で、当期純利益は、持分法適用会社における時価発行増資により特別利益が発生することもあり、6期連続で過去最高を更新する見通しです。

第4次中期経営計画のビジョン実現に向けて

2018年2月期は「100年企業」「100年ブランド」の実現に向け、「challenge and Evolution (挑戦と進化)」をテーマに掲げた第4次中期経営計画の最終年度となります。第4次中期経営計画では、「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に取り組んでまいりました。また、第4次中期経営計画の基本方針として、事業ビジョン、組織ビジョン、数値ビジョンを設定し、各ビジョンの実現に向けて各種施策を推進してまいりました。これまでの取り組みにより、当社グループの収益性は向上し、成果には一定の手応えを感じております。一方で、今後の中長期的成長や新たなマーケットの開拓においては、更なる人材への投資が必要であると考えております。そして、当社の主力ブランドである「4°C」に一層の磨きをかけ、その輝きをマーケットへ発信していくことが当社グループの最大の使命であると認識しております。

今後も更なる成長に向け取り組んでまいりますので、引き続きご期待ください。

第4次中期経営計画の基本方針 (2016年2月期～2018年2月期)

スローガン：挑戦と進化 Challenge and Evolution 「100年企業」、「100年ブランド」を目指して

【事業ビジョン】

- | | | |
|---|--------------|---|
| 1 | FDCプロダクツグループ | チャネル戦略の推進とゾーンおよびアイテム拡大によるジュエリーSPA事業の更なる成長 |
| 2 | アスティグループ | アパレルメーカー事業の拡大とホールセール事業の再構築 |
| 3 | (株)アーージュ | パレットの認知度向上によるデイリーファッション事業の拡大 |

【組織ビジョン】

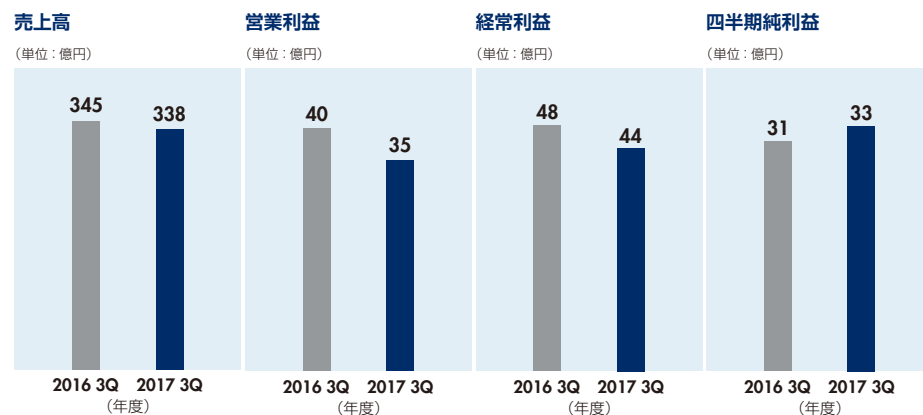
- | | | |
|---|----------------|---------------|
| 4 | 「4°C」ブランドの価値向上 | グループシナジー体制の推進 |
| 5 | EC事業の成長 | グループ人材育成の推進 |
| 6 | 海外小売事業戦略の推進 | グループ経営管理機能の強化 |

2018年2月期第3四半期(2017年3月～11月) 連結決算概要

2018年2月期第3四半期連結業績

- 第3四半期累計期間の連結業績は減収減益となりましたが、四半期純利益は2期連続で過去最高を更新しました。業績動向を踏まえ、2018年2月期通期の連結業績予想を修正しました。売上高、営業利益、経常利益は減収減益の見通しとなりますが、当期純利益は6期連続で過去最高を更新する予定です。

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
33,834 百万円 (前年同期比 △1.9%)	3,487 百万円 (前年同期比 △12.0%)	4,445 百万円 (前年同期比 △7.1%)	3,332 百万円 (前年同期比 +7.4%)

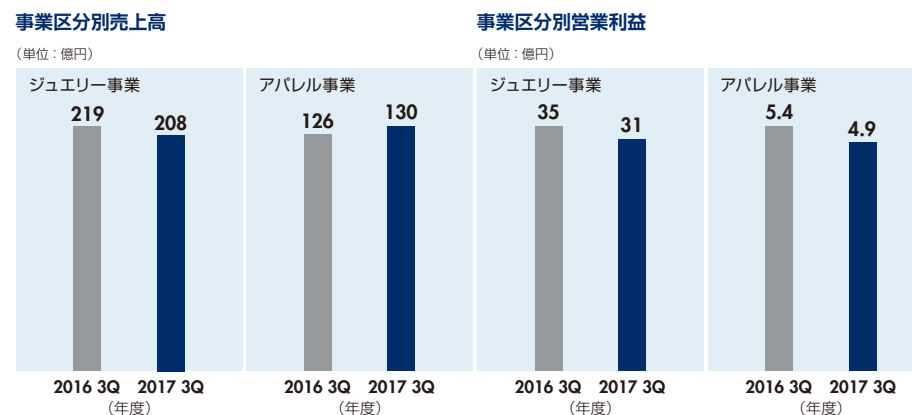


セグメント情報

- ジュエリー事業はブライダルジュエリーの売上が計画を下回ったことにより、減収減益となりました。「4℃ BRIDAL」における専門店としての独自性を追求し、大規模な商品開発に取り組んだほか、フェア施策の充実を図っております。
- アパレル事業は、アパレルメーカー事業における主力得意先との取り組み強化や、デイリーファッション事業における出店拡大・販促施策の強化に取り組み、増収も減益となりました。

事業区分別業績	売上高 (単位: 百万円)			セグメント利益 (単位: 百万円)		
	2017年2月期 第3四半期	2018年2月期 第3四半期	前年同期比(%)	2017年2月期 第3四半期	2018年2月期 第3四半期	前年同期比(%)
ジュエリー事業	21,856	20,832	△4.7	3,500	3,054	△12.7
アパレル事業	12,620	13,002	+3.0	540	491	△9.2

注1: 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2: 外部顧客に対する売上高を表示しています。



トピックス

MY 4°C Jewelry フォロー&投稿キャンペーンの開催

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2017年10月27日(金)~12月25日(月)に、「MY 4°C Jewelryフォロー&投稿キャンペーン」を開催しました。多くの方々から、お持ちの4°Cジュエリーの写真に、お気に入りのポイントや身につけた時のお気持ちを添えてSNSに投稿していただきました。ぜひこの機会に、Facebook、Instagram、Twitterなどの各ソーシャルメディアに掲載された投稿をご覧ください。



「MY 4°C Jewelry フォロー&投稿キャンペーン」のSNS画面

「MAISON JEWELL」イオンモール倉敷店オープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2017年10月27日(金)、「MAISON JEWELL」イオンモール倉敷店をオープンしました。イオンモール倉敷はファミリー層を中心に集客力が高く、また商圈エリア内に競合する商業施設が少ないこともあり、地域で一番高い売上高を誇っています。「MAISON JEWELL」は1Fメイン通路沿いの、非常にお客様の目に留まりやすい場所に出店しています。お近くいらした際は、ぜひお立ち寄りください。スタッフ一同お待ちしております。



「MAISON JEWELL」イオンモール倉敷店

「パレット」ダイエー湊川店、アプロ生野小路店、フォレオ枚方店オープン

株式会社アージュ

デイリーファッション「パレット」は、出店拡大による関西ドミナントを推し進めています。2017年10月12日(水)に神戸市にダイエー湊川店を出店いたしました。また大阪において、11月9日(木)にアプロ生野小路店を、11月23日(木)にフォレオ枚方店をそれぞれ出店いたしました。上記3店舗を含めて関西圏では32店舗目となり、「パレット」の総店舗数は67店舗となりました。これからも、ファッションを楽しみたいというお客様のために、いつも楽しい商品を提供してまいります。



「パレット」ダイエー湊川店

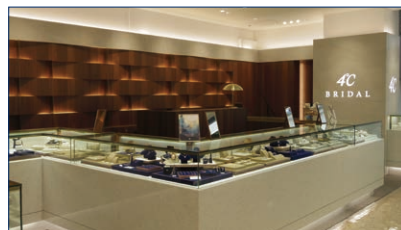
「4°C」新プロトを導入

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

「4°C」ではブランドの価値向上を図るため、「大人化・上質化」をテーマに、一部店舗において店装デザインの刷新を行いました。大理石や木等の天然素材を使用し、重厚で上質な印象の中にも温もりを感じられる空間を演出しています。2018年2月期は、4店舗を新しい店装デザインにて展開しております。次期以降も改装等に合わせ新プロトによる新しい空間を広げ、多くの方々に新しい「4°C」の世界観を体験していただけるように取り組んでまいります。



新プロトを導入した「4°C」および「4°C BRIDAL」の鹿児島山形屋店



アスティふれあいコンサート2017開催

株式会社アスティ

(株)アスティは、2017年12月15日(金)に「アスティふれあいコンサート2017」を開催しました。第20回の節目となる今回は、広島国際会議場フェニックスホールにおいて、指揮に柴田真郁、ソリストにギター界の次代を担う新星、朴 葵 姫(パク キュヒ)さんを迎え、広島交響楽団との共演を多くのお客様に楽しんでいただきました。



アスティふれあいコンサート2017

個人投資家向け会社説明会を開催

株式会社4°Cホールディングス

2017年12月14日(木)、野村證券船橋支店において、「4°Cホールディングスグループの成長戦略」と題した個人投資家向け会社説明会を開催しました。説明会では会社の沿革や宝飾市場の取り巻く環境、当社グループの特徴や優位性などについてお話をさせていただきました。2018年2月期は全5回の会社説明会開催を予定しています。今後も個人投資家の皆様へ、当社グループをより深くご理解いただくため、会社説明会の開催や開示資料の充実などに努めてまいります。



野村證券船橋支店での個人投資家向け会社説明会

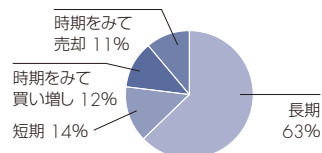
株主アンケート結果のご報告

(2017年2月末株主様対象)

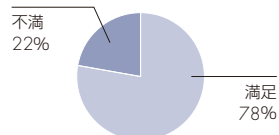
(株)4℃ホールディングスでは、株主の皆様の声にIR活動の一層の改善に活かすため、継続的に株主アンケートを実施

しております。今回も多数の株主様にご協力いただき、誠にありがとうございました。今回は9,619名の方を対象にアンケートを実施し、7,441名の株主様からご回答をいただきました。

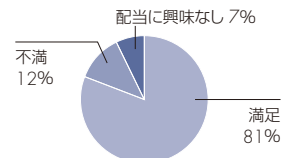
■ 当社の株式保有に関するお考えをお教えてください。



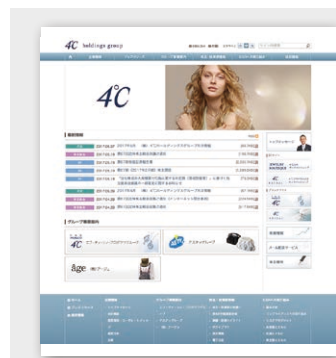
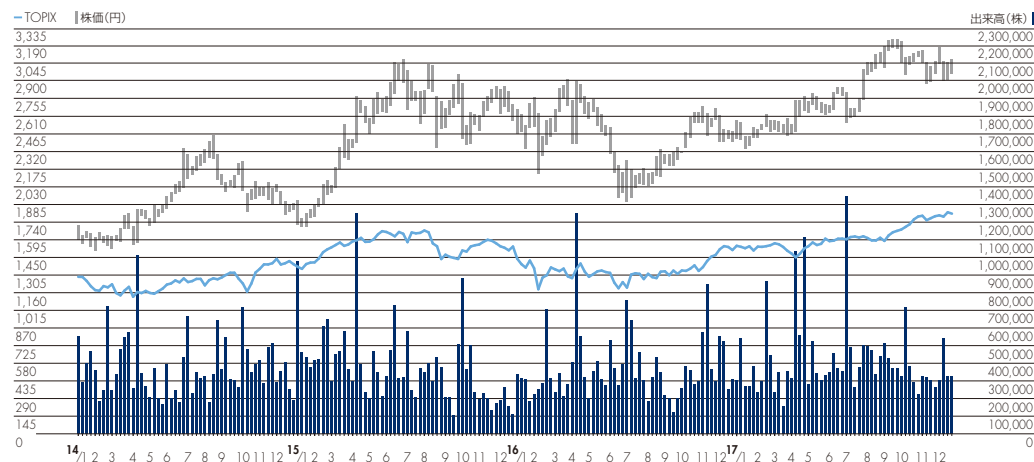
■ 株主優待についてご感想をお聞かせください。



■ 2017年2月期配当についてお聞かせください。



株価推移



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <http://www.yondoshi.co.jp>

IRお問い合わせ先 TEL: 03-5719-3429 / FAX: 03-5719-3289

経営企画部IR課 E-mail: ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

コーポレートガバナンス・ガイドラインについて

コーポレートガバナンスに対する基本的な考え方や取り組みを体系化したものを『コーポレートガバナンス・ガイドライン』としてまとめ、コーポレートサイトへ掲載しております。当社グループは、健全で透明性の高い企業グループとして社会の信頼と責任に応えてまいります。

URL <http://www.yondoshi.co.jp/company/governance/>

■ 会社概要 (2017年11月30日現在)

社名	株式会社4℃ホールディングス YONDOSHI HOLDINGS INC. (英文)
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業および小売事業
連結子会社	9社

■ 株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法)当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。(公告を掲載するホームページアドレス) http://www.yondoshi.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8008

■ 株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1

お問い合わせ先

0120-232-711 オペレーター対応 / 受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

(ご注意)

1. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
3. 配当金の口座振込のご指定につきましては、各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。